



特別養護老人ホームとさの里

# 老朽化した「改良住宅」今後どうする



野村議員

問 戸波を久しぶりに歩くと老朽化した住宅が気になった。調査を進め検討すると、状況であったが、進捗を問う。

他の事業との優先順位を決め今後の具体的なゴールは？

山本都市環境課長

PFI事業により建設を検討中の日高を視察し、市直営等も検討していく。

板原市長

具体的なめどはないが、PFI方式等々整備手法、法制度の動向など、早くやる方法で模索している。

問 住み慣れた地域で安心な老後を過ごせる私の念願のサービスである、月額定額利用の小規模多機能型居宅介護施設。一人暮らしの方でも、切れ目のない24時間3

## 安心して暮らせる居宅介護施設設置を

65日、施設に負けな一人暮らしが続けられ一事業所が、通い・訪問・お泊りの三つのサービスを提供する。ハード整備については十分な補助金があり、公法人は民間の発想と行政責任を果たす二つの大きな役割を持つている。社会福祉法人土佐市社会福祉事業団と土佐市として、小規模多機能型居宅介護施設整備のご英断を！

板原市長

小規模多機能型居宅介護施設設置するには課題がある。公募による民間事業者があればそれにこしたことはない。

## アサリの再生

出来ない壁でなく、市民の終末を安心して迎えるために公法人的役割を發揮し、居宅介護施設設置を！

問 宇佐地区協議会の方が中心となり、アサリの復活にむけ干潟の保全活動の進捗状況を問う。

森田水産課長

「立体型かぶせ網」

にたどり着き、563区画敷設し、メンテナンス実施。アサリの稚貝着床し、魚類からの食害にも防護効果発



潮干狩り体験

揮され、順調に生育しているが、安定的に親貝成長には時間がかかる。

板原市長

国からの交付金事業で再生のめどはあったが、これから肝心。自立した組織で宇佐地域の活性化、観光資源として再生を目指し水産課が頑張っている。

## 安全な通学路に照明を

問 荒倉トンネルを土佐市に向かい出た後、特にゲンダイ前までは民家もなく照明も不十分。市内外の学生の通学路であり安全のため充分な照明を求め。

板原市長

土佐国道事務所では、道路照明施設設置基準に基づき設置。照明等設置要望はない。

問 百間は一見に如かず。公共交通の便も減り、自転車通学が余儀なくされている。通学路の安全を！

板原市長

管理する国土交通省土佐国道事務所に声を届ける。